

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第2回 里地里山保全利活用専門部会
議事要旨

1 開催日時：平成31年2月20日（水）15:00～16:40

2 開催場所：緑農会館

3 出席者：〔座長〕佐倉特任教授

〔部会員〕立川委員、野島委員、越畑委員、梅沢委員、米津委員、地引委員（小川代理）、古山委員（石黒代理）、山中委員、伊藤委員、石井委員、永江委員（欠席）

〔事務局〕建設緑政局緑政部みどりの協働推進課：今井担当課長、緒方担当係長、遠藤主任

コンサルタント（株）URリンケージ 岸本

4 議事 《主な意見》

（1）平成30年度の取り組みと、平成31年度の具体的な取り組み（案）について

これまでの成果と今後の課題・方向性

1）地1：竹あんどんづくり

《イベントについて》

- ①道具の数がそろってきたので、今回の参加者人数くらいは対応可能。
- ②竹あんどん以外にも、シノダケで紙デッポウは簡単に作れるので、出来るとよい。
- ③竹とんぼづくりは出来る。箸程度なら出来ると思うが、竹あんどんより危険。
- ④弓矢づくりも可能だが、矢場など危険性の配慮が必要。
- ⑤例年、竹あんどんづくりイベントと竹あんどん販売を同日に行っているが問題ない。

《作品作りと販売について》

- ①あんどん以外にも、箸やスプーンづくりなどの活動が始まっている。
- ②技術的に向上し、買って頂ける作品が作れるようになってきた。
- ③黒川の竹あんどんの会のPRの1つとして「小野路やまいち」（4月20日開催）へ出店予定。
- ④会員が制作している竹あんどん以外の作品などの成果を収穫祭で発表したい。
- ⑤太い竹が少なくなってきたため、細めの竹を、どうあんどんにしていくかが課題。

《地域連携について》

- ①営農倉庫の一部を竹行燈の会で使う道具の保管場所に使用してもらえることになった。
- ②管理のしきれない民有地で竹を伐る事は、農家の人と地域の人の交流にもなりよい。

2）地2：里山保全活動体験

《天候について》

- ①大雪の予報だったが、雨天実施の予定でもあったため実施した。来年も同時期であれば、同じ状況になる懸念はある。
- ②悪天候の際、順延については、1週間後に順延であれば、対応可能。

《参加者数について》

①道具は60個ほど確保できるため、今後受け入れ人数を増やす検討をする。

《作業について》

①昨年に比べ竹が深く大変な場所であったが、しっかり刈れていた。1人の刈った量は多くないが、全員では広い面積が刈れた。

②併せて倒木処理が出来て良かった。

③市の管理地が沢山ある中、市民によって管理できるとよい。

《道具について》

①カマや手袋などの道具について、工夫や改善が必要。

《野菜の配布・収穫体験》

①今年は野菜の配布を行った。お土産がある事で、来年の参加にもつながる。

《大学との連携》

①生田キャンパス周辺で草刈の活動をしているグループや、その他大学生に声をかけていきたい。

3) 今後の課題、アイデア等

《里山保全活動+αの取り組み》

①里山保全管理活動と近くの畑での収穫体験が一緒にできるとよい。

②管理がしきれない民有地の竹林で管理が出来ると良い。

③タケノコ採りや農産物の提供など、農産物部会と連携が可能。

4) 取り組み全体

①里地里山保全利活用専門部会の取組は地味だが、その取組を重ねていく事が、地域の人の意識改革や、地域の緑を守っていく事につながり、街づくりにつながっていく。

5 まとめ

3つの議題について、里地里山利活用専門部会として承認をいただいた。基本計画については、全体的な方向性は継承し、実施計画については、発展させながら行っていきたい。

以上